

日本語

バージョンアップ情報

V3.1 で更新される主な機能

ネットワーククライアントモードの複数登録

ネットワーククライアントモードの設定が 3 つまで保存できるようになりました。

「System Settings」 > 「Network Client Mode Settings」 > 「Preset 1」 ~ 「Preset 3」 にそれぞれ設定保存が可能です。

IP アドレスの衝突回避対応

ワイヤレス LAN AP モードとイーサネットタイプの 3G/4G/LTE USB モデムを同時使用時に、モデムの IP アドレスがワイヤレス LAN AP モードの 192.168.1.x と重なっていた場合、ワイヤレス LAN AP モードの IP アドレスを 10.0.0.1 として衝突を回避します。

この場合、本機へのアクセスは「http://10.0.0.1:8080/」としてください。

V3.0 で更新される主な機能

XDCAM air 対応

XDCAM air の Connection Control Manager と接続して、高品質なストリーミングやファイル転送ができるようになりました。

ご注意

XDCAM air は、ソニーが提供するクラウドサービスです。このサービスをご利用になるには、別途契約が必要です。一部対応していない地域がありますので、サービス対象地域について XDCAM air のサイトをご確認ください。

<https://www.xdcam-air.com>

詳しくは、ソニー法人営業窓口にお問い合わせください。

ストリーミング伝送品質の向上

4G/LTE 回線とワイヤレス LAN ステーションモード(STA モード)の 2 つのネットワークを経由し安定したストリーミングを行うことができるようになりました。

ご注意

この機能は、「Proxy Recording」が「Off」または「Proxy Recording」の設定ができないときに有効です。安定した性能を出すために、4G/LTE 回線とワイヤレス LAN では別のキャリアをお使いください。

プランニングメタデータファイルの転送

「Auto Upload」設定時、プランニングメタデータファイルの転送ができるようになりました。

V2.4 で更新される主な機能

記録フォーマットの追加

プロキシファイル記録で設定できるフォーマットとして、「HD/SD Auto」が選択できるようになりました。

「Settings」 > 「Proxy Format」 > 「Size」で選択できます。

ご注意

・「HD/SD Auto」を選んだ場合、SDI IN 端子からの信号によって、フォーマットが自動設定されます。

SDI 入力が 23.98PsF の場合には、プロキシ記録はできません。

・「HD/SD Auto」で記録したプロキシファイルは Web Browser や Content Browser Mobile で再生ができない場合があります。プロキシファイルを記録した SD カードをコンピューターに直接挿入して再生してください。

ストリーミングフォーマットの追加

より低ビットレートのフォーマットを選択できるようになりました。

「Settings」 > 「Streaming Format」 > 「Streaming」 > 「Preset」で下記のフォーマットが選択できます。

「Size」 480 × 270 : 「Bit Rate」 0.3Mbps(Mono L)/0.3Mbps(Mono R)

「Size」 480 × 270 : 「Bit Rate」 0.2Mbps(Mono L)/0.2Mbps(Mono R)

「Size」 320 × 180 : 「Bit Rate」 0.2Mbps(Mono L)/0.2Mbps(Mono R)

ご注意

このときのビデオのフレームレートは 10fps で、オーディオはサンプリング周波数 : 48 kHz/ ビットレート : 56 kbps Mono となります。

V2.3 で更新される主な機能

カムコーダーで記録したオリジナルファイルの部分転送

「Content Browser Mobile」アプリケーションのバージョン 2.2 以降を使用すると、カムコーダーで記録したオリジナルファイルにイン点/アウト点を指定して、切り出した部分を転送することができます。

また、ストーリーボードを使用すると、複数ファイルから切り出した部分を転送することができます。

ご注意

対象カムコーダーは PMW-RX50 (Ver.1.3 以降)、PMW-400 (Ver.1.6 以降)、PXW-X320 (Ver.1.1 以降)、PDW-750/850 (Ver.3.0 以降) です。

V2.2 で更新される主な機能

ネットワーククライアントモード時の機能拡張

・ネットワーク RX ステーション PWS-100RX1 (別売り、V1.2 以降) の Connection Control Manager で指定されたサーバーにプロキシファイルを送ることができるようになりました。

・ネットワーククライアントモード時のプロキシ記録に対応しました。

「Settings」 > 「System Settings」 > 「Network Client Mode Settings」 > 「Proxy Recording」でプロキシ記録のオン/オフの切り替えが行えます。

ご注意

プロキシ記録をする場合はネットワーク RX ステーション PWS-100RX1 へのストリーミングのビットレートが制限されます。

ソニーの QoS 技術による高品質ストリーミング伝送品質の向上

ネットワーク RX ステーション PWS-100RX1 (別売り、V1.2) との組合せでより細かい設定、制御が可能となり伝送品質が向上しました。

SDXC メモリーカードの対応

SDXC メモリーカードに対応しました。

ご注意

すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。

V2.1 で更新される主な機能

5GHz 対応のワイヤレス LAN モジュール CBK-WA02 (別売り) に対応

5GHz 対応のワイヤレス LAN モジュールを装着した場合は、「Settings」>「System Settings」>「AP Settings」>「Channel Select」に「Auto (5GHz)」の項目が追加されます。

また、「Station Settings」>「SSID」にて、5GHz 対応のアクセスポイントと接続できます。

ご注意

「Auto (5GHz)」は、ご使用になるワイヤレス LAN モジュールにより、表示されない場合があります。5GHz 帯の屋外使用が禁止されている国／地域向けの場合、表示されません。ワイヤレス LAN モジュールが、ご使用になる国／地域に対応しているかご確認ください。詳しくは、ワイヤレス LAN モジュールの取扱説明書をご覧ください。

Content Browser Mobile のモニタリングについて

ご使用時の電波環境およびモバイル端末によっては、モニタリング時に、画が停止する場合があります。

V2.0 で更新される主な機能

ソニーの QoS 技術による高品質ストリーミング伝送機能の追加
新たにネットワーククライアントモードを設け、ソニー製ネットワーク RX ステーション PWS-100RX1 (別売り) と合わせて使用することで、LTE/4G 回線網を利用したソニーの QoS 技術による高品質ストリーミング伝送に対応しました。

- ・「Settings」>「System Settings」>「Network Client Mode Settings」で、ネットワーククライアントモードのオン／オフ切り替えや接続設定が行えます。
- ・ネットワーククライアントモード時は PWS-100RX1 側からストリーミングに関する設定や制御が行われます。

ご注意

- ・ネットワーククライアントモード時、本機はプロキシ記録とファイル転送は行えません。プロキシ記録中やファイル転送中にネットワーククライアントモードに変更すると、プロキシ記録やファイル転送は自動的に中止されます。
- ・従来のストリーミング伝送機能、モニタリング機能とは同時に使用できません。
- ・特にワイヤレス LAN 環境や有線 LAN 環境では状況によっては一時的または充分な帯域を確保することができず、画乱れなどが発生する場合があります。

記録フォーマットの追加

プロキシファイル記録で設定できるフォーマットとして、1280 × 720 (6Mbps) が選択できるようになりました。

- ・「Settings」>「Proxy Format」>「Size」で選択できます。

USB-RJ45 アダプター経由の Web/Cam Remote 対応

USB-RJ45 アダプター CBK-NA1 (別売り) を使用して本機の Web メニューや本機に対応しているカムコーダーのリモートページへアクセスできるようになりました。

- ・「Settings」>「Wired LAN Settings」>「Web/Cam Remote」でオン／オフが設定できます。

ご注意

オンの場合はインターネットからの不正アクセスを防ぐため、インターネットに接続しない状態でご使用されることを推奨します。

エッセンスマーク付加機能の追加

カムコーダー本体記録中にエッセンスマークが付加された場合、同期記録終了後にプロキシファイルにもエッセンスマークを付加する機能に対応しました。

ご注意

対象カムコーダーは PMW-50/RX50/160/200/300/400/500、PXW-X320 で、カムコーダーに記録されるオリジナルファイルの情報を継承した同一デューレーションのプロキシファイル記録の場合に有効です。オリジナルファイルが分割された場合はプロキシには付加されません。

GPS 情報記録に対応

HD-SDI に GPS 情報が含まれているカムコーダーとの接続の場合、プロキシファイルに GPS 情報を記録することができるようになりました。

ご注意

対象カムコーダーは PDW-850/750 です。

プロキシファイルの部分転送に対応

「Content Browser Mobile」アプリケーションバージョン 2.0 以降を使用することで、記録済みのプロキシファイルに対し、イン点／アウト点を指定して、部分転送することができます。

ご注意

部分転送されるファイルは、イン点／アウト点位置の前後に最大 15 フレームのマージンが付加されます。

モニタリングのフォーマット変更

モニタリングのフォーマットから、「Size」の「640 × 360 (3Mbps)」を削除しました。この設定でお使いの方は、「Size」が「480 × 270 (1Mbps)」となります。

V1.3 で更新される主な機能

ストリーミング伝送機能の追加

カムコーダーのライブ映像を、インターネットやローカルネットワークを通じてストリーミング伝送する機能を追加しました。MPEG2-TS/UDP と MPEG2-TS/RTP の伝送方式に対応しています。

- ・ストリーミング機能の追加に伴い、「Settings」メニューの「Format」を、「Streaming Format」と「Proxy Format」に分割しました。従来の「Streaming」は「Monitoring」に項目名を変更しました。
- ・「Settings」>「Streaming Format」>「Streaming」で、ストリーミング伝送のオン／オフの切り替え、プリセットの選択／編集が行えます。

ご注意

- ・ストリーミングを開始した場合には、プロキシ記録とファイル転送は行えません。
- ・プロキシ記録中やファイル転送中にストリーミングを開始した際には、プロキシ記録とファイル転送は自動的に中止されます。
- ・モニタリング機能は同時に使用できません。
- ・ネットワーク伝送路の状況により、受信側で画や音の乱れや一時停止などが発生することがあります。

USB-RJ45 アダプターの対応

USB-RJ45 アダプター CBK-NA1 (別売り) を接続することで、有線 (LAN ケーブル) でのネットワーク接続が可能になりました。「Settings」メニューに「Wired LAN Settings」で有線接続時の設定ができます。

V1.22 で更新される主な機能

対応機種種の追加

PDW-850/750、PMW-RX50 に対応しました。

PDW-850/750 および PMW-RX50 と USB 接続することで、以下のことが可能になります。

- CBK-WA100 のモード表示や SD カード残量などをビューファインダー（PDW-850/750）や LCD モニター（PMW-RX50）に表示
- オリジナルファイル（高解像度）の転送

FTP 転送時のフォルダー指定

FTP 転送時のフォルダー指定の方法を改善しました。

「Upload Settings」画面にて、転送前にあらかじめフォルダーを設定できるようになりました。

V1.1 で更新される主な機能

記録 Format の追加

「Streaming」および「Proxy File recording」で設定できるフォーマットとして、480 × 270（0.5Mbps）が選択できるようになりました。

「Settings」>「Format」で、「Streaming」または「Proxy File recording」それぞれの「Size」設定から選択できます。

Audio Channel 設定の変更

「Proxy File recording」で記録できる音声チャンネルの設定が、「Ch-1 & Ch-2」、「Ch-3 & Ch-4」の 2 通りになりました。

転送機能の拡充

- 転送とプロキシファイル記録の機能が同時に行えるようになりました。
- セキュアな FTP 転送（FTPS）に対応しました。
CA 証明書の Load 機能に対応しました。
「Settings」>「Upload Settings」>「Server Settings」の「Create New」設定で新たなサーバーを設定する場合に、「Using Secure Protocol」設定で FTPS の On/Off が設定できます。また、「Load Certification」>「Load」で CA 証明書の読み込みを行います。

ご注意

FTPS や CA 証明書に対応したサーバーの場合にのみ有効です。

- FTP 転送のリジューム機能に対応しました。
ファイル転送の失敗後、再転送する場合に、失敗したところから再開します。

ご注意

リジューム機能に対応したサーバーの場合にのみ有効です。
ファイル転送に失敗した場合、STATUS インジケータが橙色で点滅します。

- 記録完了後の自動転送機能に対応しました。
「Settings」>「Upload Settings」>「Auto upload On/Off」で自動転送のオン／オフが設定できます。

ご注意

転送先のフォルダー名称は、「ファイルを選んで転送する」で設定したフォルダーになります。未設定の場合には、当日の日付のフォルダーとなります。

- 「Job List」画面で、転送レート（Transfer data rate）と残り時間（Remain time）の表示に対応しました。

ご注意

表示の数値は目安です。ワイヤレス LAN 環境や 3G/4G/LTE 回線の接続状況によって数値が増減することがあります。

Access Point 設定の追加

- 「Settings」>「AP Settings」>「Channel Select」で、ワイヤレス LAN のチャンネルを手動で選択できるようになりました。

ご注意

選択できるチャンネルは、1 ～ 13、および Auto となります。

- 「Settings」>「AP Settings」>「Key」で、パスワードが変更できるようになりました。
- 「Settings」>「Wireless LAN」>「Status」で、「Current channel」欄に現在のチャンネルが表示されるようになりました。

Ci との認証エラー表示

Ci との接続時に認証エラーが発生した場合、「E03-005 Authentication failed」という表示を行うとともに、STATUS インジケータが橙色で点滅（0.5 秒間隔）するようになりました。

STA モードでの接続中表示

STA モードでモデムと接続中に、STATUS インジケータが黄緑色で点滅（0.5 秒間隔）するようになりました。

SD-SDI 信号対応

SD-SDI 信号の入力に対応しました。

ご注意

SD-SDI 信号入力の場合は、カムコーダーと同期して記録することはできません。

「Station Settings」画面の Search 機能の廃止

「Station Settings」画面の Search 機能は廃止しました。WPS で接続するか SSID の入力を行ってください。

V1.06 で更新される主な機能

iOS 用 Content Browser Mobile での Search 対応

iOS 用 Content Browser Mobile での Search 機能に対応しました。

お使いになるには、最新の Content Browser Mobile をインストールする必要があります。

English

Release Note

Major functions updated with V3.1

Multiple network client mode settings

The network client mode settings can be stored as up to 3 presets.

The settings are stored in “System Settings” > “Network Client Mode Settings” > “Preset 1” to “Preset 3.”

Avoiding IP address conflicts

When using wireless LAN (AP mode) and the 3G/4G/LTE USB modem for Ethernet simultaneously, and the IP address of the modem is the same as that of wireless LAN (AP mode)

192.168.1.x, the IP address of wireless LAN (AP mode) is 10.0.0.1 to avoid conflict.

In this case, access the wireless adapter via <http://10.0.0.1:8080/>.

Major functions updated with V3.0

Compatible with XDCAM air

The wireless adapter can perform high quality streaming transmission and file uploading when using it by connecting to the Connection Control Manager of XDCAM air.

Note

XDCAM air is a cloud service that is provided by Sony.

To use this service, registration is required.

XDCAM air is not provided in some regions. For details on areas where the service is provided, refer to the following site.

<https://www.xdcam-air.com>

For more details, contact Sony professional sales representative.

The streaming transmission quality is improved

With the 4G/LTE line and wireless LAN station mode (STA mode), stable streaming communication can be performed via two networks.

Note

This function is available when "Proxy Recording" is set to "Off" or cannot be set.

For stable performance, use a different carrier for the 4G/LTE line and wireless LAN.

Transferring a planning metadata file

You can transfer the planning metadata file when "Auto Upload" is set to "On."

Major functions updated with V2.4

Recording format is added

You can select "HD/SD Auto" for the proxy file recording format.

You can select on "Settings" > "Proxy Format" > "Size."

Notes

- While "HD/SD Auto" is set, the format is set automatically by the signal that is input from the SDI IN connector.
Proxy recording is not available when the SDI input signal is 23.98PsF.
- The proxy file recorded with "HD/SD Auto" may not be played back with the Web browser and Content Browser Mobile.
Insert the SD card with the proxy file recorded to the computer directly to play back.

Streaming Format is added

You can select a lower bit rate format.

You can select the following format via "Settings" > "Streaming Format" > "Preset."

"Size" 480 × 270: "Bit Rate" 0.3 Mbps(Mono L)/0.3 Mbps(Mono R)

"Size" 480 × 270: "Bit Rate" 0.2 Mbps(Mono L)/0.2 Mbps(Mono R)

"Size" 320 × 180: "Bit Rate" 0.2 Mbps(Mono L)/0.2 Mbps(Mono R)

Note

In this case, the video framerate is 10fps, and the audio sampling frequency is 48 kHz and Audio bitrate is 56 kbps for Mono.

Major functions updated with V2.3

Partial transfer of an original file recorded on a camcorder

When you use the "Content Browser Mobile" application of version 2.2 or later, you can transfer a cutout part of a file by specifying In and Out points in the original file recorded by a camcorder.

You can also transfer the cutout parts of multiple files using the Storyboard.

Note

The compatible camcorders are PMW-RX50 (Ver.1.3 or later), PMW-400 (Ver.1.6 or later), PXW-X320 (Ver.1.1 or later), and PDW-850 (Ver.3.0 or later).

Major functions updated with V2.2

Functions in the network client mode are expanded

- The proxy file can be uploaded to the server that is set on the Connection Control Manager of the Network RX Station PWS-100RX1 (optional, V1.2 or later).
- Compatible with the proxy recording in the network client mode.
You can turn the proxy recording on/off in "Settings" > "System Settings" > "Network Client Mode Settings" > "Proxy Recording."

Note

The streaming bit rate to the Network RX Station PWS-100RX1 is limited when the proxy recording is performed.

The high quality streaming transmission function with Sony's QoS Technology is improved

The quality of the streaming transmission is improved by using with the Network RX Station PWS-100RX1 (optional, V1.2 or later) that enables further settings and controls.

Compatible with the SDXC memory card

The wireless adapter is compatible with the SDXC memory card.

Note

Operations are not guaranteed for all the memory cards.

Major functions updated with V2.1

CBK-WA02 5GHz compatible wireless LAN module (sold separately)

When the 5GHz compatible wireless LAN module is installed, "Auto (5GHz)" is added in "Settings" > "System Settings" > "AP Settings" > "Channel Select."

You can access the 5GHz compatible access points via "Station Settings" > "SSID."

Note

Depending on the wireless LAN module, "Auto (5GHz)" may not appear. "Auto (5GHz)" also does not appear if the wireless LAN module is for the country/region that prohibits the use of the 5GHz band outdoors. Check if the wireless LAN module is compatible with the country/region where the wireless LAN adapter is used. For details, refer to the operating instructions of the wireless LAN module.

Monitoring function of Content Browser Mobile

The video image may stop while monitoring due to signal conditions when used on mobile devices.

Major functions updated with V2.0

Addition of the high quality streaming transmission function with Sony's QoS Technology

The CBK-WA100/WA101 is compatible with the high quality streaming transmission function with Sony's QoS Technology via an LTE/4G line by using the newly added Network Client mode with the Sony Network RX Station PWS-100RX1 (optional).

- You can turn the Network Client mode on/off and perform the connection settings in "Settings" > "System Settings" > "Network Client Mode Settings."
- Settings and controls for streaming are performed on PWS-100RX1 during Network Client mode.

Notes

- The CBK-WA100/WA101 cannot record and upload proxy files during the Network Client mode. When you change to the Network Client mode while recording or uploading proxy files, the proxy file recording or uploading is canceled automatically.
- The streaming transmission function of the Network Client mode cannot be used with the normal transmission or monitoring function simultaneously.
- Under the wireless LAN or wired LAN environment, image distortion may occur depending on the situation because a communication band is not sufficiently secured temporarily.

The recording format is added

You can select "1280×720 (6Mbps)" for the proxy file recording format.

- You can select on "Settings" > "Proxy Format" > "Size."

Compatible with the Web/Cam Remote function via the USB-RJ45 adapter

You can access the web menu of the CBK-WA100/WA101 or the remote page of the compatible camcorder by using the USB-RJ45 adapter CBK-NA1 (optional).

- You can turn the function on/off on "Settings" > "Wired LAN Settings" > "Web/Cam Remote."

Note

We recommend to use this function while the CBK-WA100/WA101 is not connected to the Internet to prevent unauthorized access.

The essence mark marking function is added

When an essence mark is marked while the camcorder is recording, the essence mark is also marked on a proxy file after the interlocking recording is finished.

Note

The compatible camcorders are PMW-50/RX50/150/160/200/300/400/500, PXW-X320. This function works only for proxy files that inherit the information and recording duration from an original file that is recorded on the camcorder. If the original file is divided, the essence mark is not marked on the proxy file.

Compatible with the GPS information recording function

You can record the GPS information on proxy files when the CBK-WA100/WA101 is connected to a camcorder with HD-SDI signals that include GPS information.

Note

The compatible camcorder is PDW-850.

Compatible with partial uploading of proxy files

You can specify an in/out point on the recorded proxy file and upload the proxy file partially by using the "Content Browser Mobile" application of the version 2.0 or later.

Note

Up to 15 frame margins are added before or after the position of the in/out point to proxy files that are uploaded partially.

Changed format for monitoring

"640×360 (3Mbps)" for "Size" is deleted from the monitoring format. If you use this setting, "Size" is set to "480×270 (1Mbps)."

Major functions updated with V1.3

Streaming transmission function is added

The streaming transmission function that transmits the live video image of the camcorder via Internet or local network is added.

The streaming is compatible with the MPEG2-TS/UDP and MPEG2-TS/RTP transmission methods.

- "Format" in the "Settings" menu is divided to "Streaming Format" and "Proxy Format" following the addition of the streaming function. "Streaming" is changed to "Monitoring."
- You can turn the streaming transmission on/off and select/edit the preset in "Settings" > "Streaming Format" > "Streaming."

Notes

- If you start streaming, proxy recording and file transferring cannot be performed.
If you start streaming during proxy recording or file transferring, proxy recording and file transferring are cancelled automatically.
- The monitoring function cannot be used simultaneously.
- Image/sound distortion or suspension may occur on the receiving side equipment depending on the situation of the network.

Compatible with the USB-RJ45 adapter

The wireless adapter can connect to the wired network (LAN cable) by connecting the USB-RJ45 adapter CBK-NA1 (optional). Wired network settings are performed in "Wired LAN Settings" of the "Settings" menu.

Major functions updated with V1.22

Added compatible models

PDW-850/750 and PMW-RX50 are compatible with the wireless adapter.

The following features are available by connecting to PDW-850/750 and PMW-RX50 via USB connection.

- Displays the mode indication for CBK-WA100 and the indication of the remaining space of the SD card on the viewfinder (PDW-850/750) or the LCD monitor (PMW-RX50)
- Transferring an original file (high resolution)

Specifying the folder for uploading to the FTP

The method of folder specification for uploading to the FTP has been improved.

You can specify the folder for uploading on the "Upload Settings" screen before uploading.

Major functions updated with V1.1

Recording format is added

480×270 (0.5Mbps) can be selected as a format that can be set in "Streaming" or "Proxy File recording."

Use the "Size" setting of "Streaming" or "Proxy File recording" in "Settings" > "Format."

The Audio Channel setting is changed

The audio channel setting that can be set in "Proxy File recording" is "Ch-1 & Ch-2" and "Ch-3 & Ch4."

Transfer function is expanded

- The file transfer and proxy file recording function can be performed simultaneously.
- Compatible with the secure FTP transferring (FTPS).
The CBK-WA100/WA101 is compatible with the CA certificate load function.
When setting the new server with "Create New" in "Settings" > "Upload Settings" > "Server Settings," you can set FTPS to on/off with "Using Secure Protocol." The CA certificate can be loaded by using "Load" in "Load Certification."

Note

This function is available only on the server that is compatible with FTPS or CA certification.

- Compatible with the resume function for FTP transferring. If file transferring fails, the file transferring starts where transferring failed when re-transferring.

Note

This function is available only on the server that is compatible with the resume function. When file transferring fails, the STATUS indicator blinks in orange.

- Compatible with the auto transferring function after recording. The auto transferring function can be turned on/off in "Settings" > "Upload Settings" > "Auto upload On/Off."

Note

The target folder is named after the set folder selected in "Selecting the file and uploading." When a target folder is not set, it is named in date format.

- Compatible with the "Transfer data rate" and "Remain time" indication in the "Job List" screen.

Note

The indicated value is an estimated value. The value may increase or decrease depending on the wireless LAN environment or connection status of a 3G/4G/LTE network.

The Access Point setting is added

- The wireless LAN channel can be selected manually in "Settings" > "AP Settings" > "Channel Select."

Note

The selectable settings are 1 to 13 and Auto.

- The password can be changed in "Settings" > "AP Settings" > "Key."
- The current channel is displayed in "Current channel" of "Settings" > "Wireless LAN" > "Status."

Error indication for the Ci authentication

When an error occurs while connecting to Ci, the "E03-005 Authentication failed" indication appears and the STATUS indicator blinks in orange (0.5 second intervals).

Connecting indication for the STA mode

The STATUS indicator blinks in light green (0.5 second intervals) while connected to the modem in STA mode.

Compatible with the SD-SDI signals

The CBK-WA100/WA101 is compatible with the SD-SDI signal inputting.

Note

While inputting SD-SDI signals, interlocking recording with the camcorder is not available.

Discontinuance of the search function on the "Station Settings" screen

The search function on the "Station Settings" screen is discontinued. Connect with the WPS function or input the SSID.

Major functions updated with V1.06

Search function of Content Browser Mobile for iOS.

The search function is compatible with Content Browser Mobile for iOS.

You need to install the latest Content Browser Mobile to use this function.

Français

Note de publication

Principales fonctions mises à jour avec la V3.1

Réglages du mode client réseau

Les réglages du mode client réseau peuvent être mémorisés sous 3 préréglages maximum.

Les réglages sont mémorisés dans « System Settings » > « Network Client Mode Settings » > « Preset 1 » à « Preset 3 ».

Éviter les conflits de l'adresse IP

Lorsque vous utilisez simultanément le réseau LAN sans fil (mode AP) et le modem 3G/4G/LTE pour Ethernet et que l'adresse IP du modem est identique à celle du LAN sans fil (mode AP), 192.168.1.x, l'adresse IP du LAN sans fil (mode AP) est 10.0.0.1 pour éviter tout conflit.

Dans ce cas, accédez à l'adaptateur sans fil via <http://10.0.0.1:8080/>.

Principales fonctions mises à jour avec la V3.0

Compatible avec XDCAM air

L'adaptateur sans fil peut effectuer une transmission du flux de haute qualité et un téléversement de fichier s'il est utilisé en se connectant au Connection Control Manager de XDCAM air.

Remarque

XDCAM air est un service en nuage fourni par Sony.

Une inscription est requise pour utiliser ce service.

XDCAM air n'est pas fourni dans certaines régions. Pour plus de détails sur les zones dans lesquelles le service est fourni, rendez-vous sur le site suivant.

<https://www.xdcam-air.com>

Pour plus de détails, contactez votre représentant commercial professionnel Sony.

La qualité de la transmission du flux est améliorée

Avec la ligne 4G/LTE et le mode de station LAN sans fil (mode STA), une communication de flux stable est possible via deux réseaux.

Remarque

Cette fonction est disponible lorsque « Proxy Recording » est réglé sur « Off » ou est indisponible.

Pour des performances stables, utilisez une porteuse différente pour la ligne 4G/LTE et le LAN sans fil.

Transfert d'un fichier de métadonnées de planification

Vous pouvez transférer le fichier de métadonnées de planification lorsque « Auto Upload » est réglé sur « On ».

Principales fonctions mises à jour avec la V2.4

Le format d'enregistrement est ajouté

Vous pouvez sélectionner « HD/SD Auto » pour le fichier format d'enregistrement du fichier proxy.

Vous pouvez le sélectionner via « Settings » > « Proxy Format » > « Size ».

Remarques

- Lorsque « HD/SD Auto » est sélectionné, le format est automatiquement réglé par le signal reçu par le connecteur SDI IN. L'enregistrement du proxy est indisponible lorsque le signal d'entrée SDI est 23.98PsF.
- La lecture du fichier proxy enregistré avec « HD/SD Auto » peut être impossible avec le navigateur Web et l'application Content Browser Mobile.

Insérez la carte SD avec le fichier proxy enregistré sur l'ordinateur directement pour la lecture.

Le format de diffusion en continu est ajouté

Vous pouvez sélectionner un format de débit binaire inférieur.

Vous pouvez sélectionner le format suivant via « Settings » >

« Streaming Format » > « Preset ».

« Size » 480 × 270 : « Bit Rate » 0,3 Mbps(Mono L)/0,3 Mbps(Mono R)

« Size » 480 × 270 : « Bit Rate » 0,2 Mbps(Mono L)/0,2 Mbps(Mono R)

« Size » 320 × 180 : « Bit Rate » 0,2 Mbps(Mono L)/0,2 Mbps(Mono R)

Remarque

Dans ce cas, le taux de trame vidéo est de 10fps, la fréquence d'échantillonnage audio de 48 kHz et le débit binaire audio de 56 kbps pour la Mono.

Principales fonctions mises à jour avec la V2.3

Transfert partiel d'un fichier d'origine enregistré sur un caméscope

Lorsque vous utilisez la version 2.2 ou ultérieure de l'application

« Content Browser Mobile », vous pouvez transférer une partie

coupée d'un fichier en spécifiant les repères de début et de fin

dans le fichier d'origine enregistré par un caméscope.

Vous pouvez aussi transférer des parties coupées de plusieurs

fichiers dans la Table de montage séquentiel.

Remarque

Les caméscopes compatibles sont le PMW-RX50 (Ver.1.3 ou

ultérieure), le PMW-400 (Ver.1.6 ou ultérieure), le PXW-X320

(Ver.1.1 ou ultérieure) et le PDW-850 (Ver.3.0 ou ultérieure).

Principales fonctions mises à jour avec la V2.2

Enrichissement des fonctions du mode client réseau

- Le fichier proxy peut être téléversé sur le serveur défini dans le Gestionnaire de commande des connexions de la station réseau RX PWS-100RX1 (en option, V1.2 ou ultérieure).

- Compatible avec l'enregistrement proxy en mode client réseau. Vous pouvez activer/désactiver l'enregistrement proxy sous « Settings » > « System Settings » > « Network Client Mode Settings » > « Proxy Recording ».

Remarque

Le débit binaire de la diffusion continue vers la station réseau RX PWS-100RX1 est limité pendant le déroulement de l'enregistrement proxy.

Amélioration de la fonction de transmission du flux de haute qualité à l'aide de la technologie QoS de Sony

La qualité de la transmission du flux a été améliorée en utilisant la station réseau RX PWS-100RX1 (en option, V1.2 ou ultérieure) qui accepte davantage de réglages et de commandes.

Compatible avec la carte mémoire SDXC

L'adaptateur sans fil est compatible avec la carte mémoire SDXC.

Remarque

Le fonctionnement n'est pas garanti avec toutes les cartes mémoire.

Principales fonctions mises à jour avec la V2.1

Module LAN sans fil compatible 5 GHz CBK-WA02 (vendu séparément)

Quand le module LAN sans fil compatible 5 GHz est installé,

« Auto (5GHz) » est ajouté sous « Settings » > « System Settings »

> « AP Settings » > « Channel Select ».

Vous pouvez accéder aux points d'accès compatibles 5 GHz via « Station Settings » > « SSID ».

Remarque

Selon le module LAN sans fil, « Auto (5GHz) » peut ne pas

apparaître. « Auto (5GHz) » n'apparaît pas non plus si le module

LAN sans fil est destiné à un pays ou à une région interdisant

l'utilisation de la bande des 5 GHz en extérieur. Vérifiez si le

module LAN sans fil est compatible avec le pays ou la région

d'utilisation de l'adaptateur LAN sans fil. Pour plus de détails,

reportez-vous au mode d'emploi du module LAN sans fil.

Fonction de surveillance de Content Browser Mobile

L'image vidéo peut cesser pendant la surveillance en raison des conditions de signal lors de l'utilisation ou des périphériques mobiles.

Principales fonctions mises à jour avec la V2.0

Ajout de la fonction de transmission du flux de haute qualité dotée de la technologie QoS de Sony

Le CBK-WA100/WA101 est compatible avec la fonction de

transmission du flux de haute qualité dotée de la technologie

QoS de Sony via une ligne LTE/4G en utilisant le nouveau mode

Network Client avec la station réseau RX Sony PWS-100RX1 (en

option).

- Vous pouvez activer/désactiver le mode Network Client et effectuer les réglages de connexion sous « Settings » > « System Settings » > « Network Client Mode Settings ».

- Les réglages et les commandes concernant la diffusion continue se font sur le PWS-100RX1 en mode Network Client.

Remarques

- Le CBK-WA100/WA101 ne peut pas enregistrer et téléverser des

fichiers proxy lorsqu'il est en mode Network Client. Lorsque vous passez en mode Network Client pendant l'enregistrement ou le téléversement de fichiers proxy, l'enregistrement ou le téléversement de fichiers proxy s'annule automatiquement.

- La fonction de transmission du flux du mode Network Client ne peut pas être utilisée en même temps que la fonction de transmission normale ou de surveillance.

- Dans un environnement de réseau LAN sans fil ou filaire, une distorsion de l'image est possible selon la situation, car une bande de communication n'est pas suffisamment sécurisée momentanément.

Ajout du format d'enregistrement

Vous pouvez sélectionner « 1280×720 (6Mbps) » pour le format d'enregistrement du fichier proxy.

- Vous pouvez le sélectionner sous « Settings » > « Proxy Format » > « Size ».

Compatible avec la fonction Web/Cam Remote via l'adaptateur USB-RJ45

Vous pouvez accéder au menu Web du CBK-WA100/WA101 ou à la page de la télécommande du caméscope compatible à l'aide de l'adaptateur USB-RJ45 CBK-NA1 (en option).

- Vous pouvez activer/désactiver la fonction sous « Settings » > « Wired LAN Settings » > « Web/Cam Remote ».

Remarque

Nous recommandons d'utiliser cette fonction lorsque le CBK-WA100/WA101 n'est pas connecté à Internet afin d'éviter tout accès non autorisé.

Ajout de la fonction de marquage de repère de scène essentielle

Lorsqu'un repère de scène essentielle est marqué alors que le caméscope est en cours d'enregistrement, il est également marqué sur un fichier proxy une fois l'enregistrement d'asservissement terminé.

Remarque

Les caméscopes compatibles sont les modèles PMW-50/RX50/150/160/200/300/400/500, PXW-X320. Cette fonction n'est opérante que pour les fichiers proxy qui héritent des informations et de la durée d'enregistrement d'un fichier original enregistré sur le caméscope. Si le fichier original est divisé, le repère de scène essentielle n'est pas marqué sur le fichier proxy.

Compatible avec la fonction d'enregistrement des informations du GPS

Vous pouvez enregistrer les informations du GPS sur des fichiers proxy lorsque le CBK-WA100/WA101 est connecté à un caméscope doté de signaux HD-SDI incluant des informations de GPS.

Remarque

Le caméscope compatible est le modèle PDW-850.

Compatible avec le téléversement partiel de fichiers proxy

Vous pouvez spécifier un point d'entrée/de sortie sur le fichier proxy enregistré et téléverser partiellement ce fichier proxy en utilisant l'application « Content Browser Mobile » version 2.0 ou ultérieure.

Remarque

Jusqu'à 15 marges de trame sont ajoutées avant ou après la position du point d'entrée/de sortie sur les fichiers proxy téléversés partiellement.

Modification du format de surveillance

« 640x360 (3Mbps) » pour « Size » est supprimé du format de surveillance. Si vous utilisez ce réglage, « Size » est réglé sur « 480x270 (1Mbps) ».

Principales fonctions mises à jour avec la V1.3

Ajout de la fonction de transmission du flux

La fonction de transmission du flux, qui transmet l'image vidéo en direct du caméscope via Internet ou le réseau local, a été ajoutée.

La diffusion continue est compatible avec les méthodes de transmission MPEG2-TS/UDP et MPEG2-TS/RTP.

- L'option « Format » du menu « Settings » a été scindée en « Streaming Format » et « Proxy Format », suite à l'ajout de la fonction de diffusion. « Streaming » a été remplacé par « Monitoring ».
- Vous pouvez activer/désactiver la transmission du flux et sélectionner/modifier le pré-réglage sous « Settings » > « Streaming Format » > « Streaming ».

Remarques

- Si vous démarrez la diffusion, il n'est pas possible de procéder au transfert de fichiers et à l'enregistrement du proxy. Si vous démarrez la diffusion pendant l'enregistrement du proxy ou un transfert de fichiers, ceux-ci sont automatiquement annulés.
- La fonction de surveillance ne peut pas être utilisée simultanément.
- Une distorsion ou une interruption de l'image/du son est possible sur l'équipement de réception selon la situation du réseau.

Compatible avec l'adaptateur USB-RJ45

L'adaptateur sans fil peut se connecter au réseau filaire (câble LAN) en connectant l'adaptateur USB-RJ45 CBK-NA1 (en option). Les réglages du réseau filaire s'effectuent au moyen de l'option « Wired LAN Settings » du menu « Settings ».

Principales fonctions mises à jour avec la V1.22

Modèles compatibles ajoutés

Les modèles PDW-850/750 et PMW-RX50 sont compatibles avec l'adaptateur sans fil.

Les fonctions suivantes sont disponibles en connectant le PDW-850/750 et le PMW-RX50 via USB.

- Affiche l'indication de mode pour le CBK-WA100 et l'indication d'espace restant de la carte SD sur le viseur (PDW-850/750) ou le moniteur LCD (PMW-RX50)
- Transfert d'un fichier original (haute résolution)

Spécification du dossier destiné au téléversement vers le FTP

La méthode de spécification du dossier destiné au téléversement vers le FTP a été améliorée.

Vous pouvez spécifier le dossier destiné au téléversement sur l'écran « Upload Settings » avant le téléversement.

Principales fonctions mises à jour avec la V1.1

Format d'enregistrement ajouté

480x270 (0,5 Mbit/s) peut être sélectionné comme format définissable sous « Streaming » ou « Proxy File recording ». Utilisez le réglage « Size » de « Streaming » ou de « Proxy File recording » sous « Settings » > « Format ».

Réglage du canal audio modifié

Le réglage du canal audio qui peut être défini sous « Proxy File recording » est « Ch-1 & Ch-2 » et « Ch-3 & Ch-4 ».

Fonction de transfert élargie

- Le transfert de fichier et la fonction d'enregistrement de fichier proxy peuvent être exécutés simultanément.
- Compatible avec le transfert FTP sécurisé (FTPS). Le CBK-WA100/WA101 est compatible avec la fonction de chargement des certificats CA. Lors de la définition du nouveau serveur à l'aide de « Create New » sous « Settings » > « Upload Settings » > « Server Settings », vous pouvez activer/désactiver FTPS au moyen de « Using Secure Protocol ». Le certificat CA peut être chargé à l'aide de « Load » sous « Load Certification ».

Remarque

Cette fonction est seulement disponible sur le serveur compatible avec FTPS ou la certification CA.

- Compatible avec la fonction de reprise de transfert FTP. Lorsque vous redémarrez un transfert de fichier qui a échoué, il redémarre là où il s'était arrêté.

Remarque

Cette fonction est seulement disponible sur le serveur compatible avec la fonction de reprise. Lorsqu'un transfert de fichier échoue, le témoin STATUS clignote en orange.

- Compatible avec la fonction de transfert automatique après enregistrement. La fonction de transfert automatique peut être activée/désactivée sous « Settings » > « Upload Settings » > « Auto upload On/Off ».

Remarque

Le dossier cible est nommé selon le dossier défini sélectionné à la section « Sélection du fichier et téléchargement ». Si aucun dossier cible n'est défini, il est nommé selon le format de date.

- Compatible avec « Transfer data rate » et l'indication « Remain time » dans l'écran « Job List ».

Remarque

La valeur indiquée est estimée. La valeur peut augmenter ou diminuer en fonction de l'environnement LAN sans fil ou l'état de la connexion à un réseau 3G/4G/LTE.

Réglage du point d'accès ajouté

- Le canal LAN sans fil peut être sélectionné manuellement sous « Settings » > « AP Settings » > « Channel Select ».

Remarque

Les réglages sélectionnables sont 1 à 13 et Auto.

- Le mot de passe peut être modifié sous « Settings » > « AP Settings » > « Key ».
- Le canal actuel est affiché sous « Current channel » dans « Settings » > « Wireless LAN » > « Status ».

Indication d'erreur de l'authentification Ci

Si une erreur survient pendant la connexion à Ci, l'indication « E03-005 Authentication failed » apparaît et le témoin STATUS clignote en orange (à intervalle de 0,5 seconde).

Indication de connexion du mode STA

Le témoin STATUS clignote en vert clair (à intervalle de 0,5 seconde) pendant la connexion au modem en mode STA.

Compatible avec les signaux SD-SDI

Le CBK-WA100/WA101 est compatible avec l'entrée de signaux SD-SDI.

Remarque

Lors de l'entrée de signaux SD-SDI, l'enregistrement d'asservissement avec le caméscope n'est pas disponible.

Disparition de la fonction de recherche dans l'écran « Station Settings »

La fonction de recherche a été retirée de l'écran « Station Settings ». Connectez-vous à l'aide de la fonction WPS ou entrez le SSID.

Principales fonctions mises à jour avec la V1.06

Fonction de recherche avec Content Browser Mobile pour iOS

La fonction de recherche est compatible avec Content Browser Mobile pour iOS.

Pour pouvoir utiliser cette fonction, vous devez installer la dernière version de Content Browser Mobile.

Deutsch

Freigabemittelung

Wichtige in V3.1 aktualisierte Funktionen

Mehrere Einstellungen für den Netzwerk-Client-Modus

Die Einstellungen für den Netzwerk-Client-Modus können in bis zu 3 Voreinstellungen gespeichert werden.

Die Einstellungen können unter „System Settings“ > „Network Client Mode Settings“ > „Preset 1“ bis „Preset 3“ gespeichert werden.

Vermeiden von IP-Adresskonflikten

Wenn Sie ein WLAN (AP-Modus) und das 3G/4G/LTE-USB-Modem für Ethernet gleichzeitig verwenden und die IP-Adresse des Modems ebenfalls 192.168.1.x lautet, also mit der des WLANs (AP-Modus) identisch ist, wechselt die IP-Adresse des WLANs (AP-Modus) zu 10.0.0.1, um Konflikte zu vermeiden. Greifen Sie in diesem Fall über <http://10.0.0.1:8080/> auf den WLAN-Adapter zu.

Wichtige in V3.0 aktualisierte Funktionen

Kompatibel mit XDCAM air

Wenn eine Verbindung zwischen dem WLAN-Adapter und dem Connection Control Manager oder XDCAM air besteht, kann der WLAN-Adapter Streamingübertragungen hoher Qualität und Datei-Uploads durchführen.

Hinweis

XDCAM air ist ein Cloud-Dienst, der von Sony bereitgestellt wird. Wenn Sie diesen Dienst nutzen wollen, ist eine Registrierung erforderlich.

XDCAM air wird in einigen Regionen nicht bereitgestellt.

Ausführliche Informationen zu den Gebieten, in denen der Dienst bereitgestellt wird, finden Sie auf der folgenden Website.

<https://www.xdcam-air.com>

Für weitere Informationen wenden Sie sich an Vertriebsmitarbeiter von Sony Professional.

Bessere Qualität der Streamingübertragung

Mit einer 4G/LTE-Verbindung und dem WLAN-Stationsmodus (STA-Modus) kann eine stabile Streamingkommunikation über zwei Netzwerke erfolgen.

Hinweis

Diese Funktion steht zur Verfügung, wenn „Proxy Recording“ auf „Off“ gesetzt ist oder nicht eingestellt werden kann.

Verwenden Sie für eine stabile Kommunikation verschiedene Bänder für die 4G/LTE-Verbindung und das WLAN.

Übertragen einer Planungsmetadatendatei

Sie können die Planungsmetadatendatei übertragen, wenn „Auto Upload“ auf „On“ gesetzt ist.

Wichtige in V2.4 aktualisierte Funktionen

Zusätzliches Aufnahmeformat

Sie können „HD/SD Auto“ als Aufnahmeformat für Proxydateien auswählen.

Sie können die Auswahl unter „Settings“ > „Proxy Format“ > „Size“ vornehmen.

Hinweise

- Wenn „HD/SD Auto“ eingestellt ist, wird das Format automatisch durch das am SDI IN-Anschluss eingespeiste Signal festgelegt.

Die Aufzeichnung einer Proxydatei steht bei SDI-Eingangssignalen im Format 23.98PsF nicht zur Verfügung.

- Eine mit „HD/SD Auto“ aufgezeichnete Proxydatei kann mit dem Webbrowser und Content Browser Mobile unter Umständen nicht wiedergegeben werden.

Setzen Sie für die Wiedergabe die SD-Karte mit der aufgezeichneten Proxydatei direkt in den Computer ein.

Zusätzliches Streaming-Format

Sie können ein Format mit einer niedrigeren Bitrate auswählen.

Sie können das folgende Format über „Settings“ > „Streaming Format“ > „Preset“ auswählen.

„Size“ 480 × 270: „Bit Rate“ 0,3 Mbps(Mono L)/0,3 Mbps(Mono R)

„Size“ 480 × 270: „Bit Rate“ 0,2 Mbps(Mono L)/0,2 Mbps(Mono R)
„Size“ 320 × 180: „Bit Rate“ 0,2 Mbps(Mono L)/0,2 Mbps(Mono R)

Hinweis

In diesem Fall beträgt die Einzelbildrate für Video 10fps, die Audioabstastfrequenz 48 kHz und die Audiobitrate für Mono 56 kbps.

Wichtige in V2.3 aktualisierte Funktionen

Teilweise Übertragung einer auf einem Camcorder aufgezeichneten Originaldatei

Wenn Sie die Anwendung „Content Browser Mobile“, Version 2.2 oder höher, verwenden, können Sie einen beschnittenen Teil einer Datei übertragen, indem Sie in der von einem Camcorder aufgezeichneten Originaldatei einen In- und einen Out-Punkt angeben.

Sie können auch die beschnittenen Teile mehrerer Dateien unter Verwendung des Storyboards übertragen.

Hinweis

Kompatible Camcorder sind der PMW-RX50 (Ver. 1.3 oder höher), der PMW-400 (Ver. 1.6 oder höher), der PXW-X320 (Ver. 1.1 oder höher) und der PDW-850 (Ver. 3.0 oder höher).

Wichtige in V2.2 aktualisierte Funktionen

Erweiterung von Funktionen im Netzwerk-Client-Modus

- Die Proxydatei kann zu dem Server hochgeladen werden, der im Connection Control Manager der Netzwerkempfangsstation PWS-100RX1 (optional, V1.2 oder höher) eingestellt wird.
- Kompatibel mit der Proxy-Aufzeichnung im Netzwerk-Client-Modus.

Sie können die Proxy-Aufzeichnung in „Settings“ > „System Settings“ > „Network Client Mode Settings“ > „Proxy Recording“ ein-/ausschalten.

Hinweis

Die Streaming-Bitrate an der Netzwerkempfangsstation PWS-100RX1 ist begrenzt, wenn die Proxy-Aufzeichnung ausgeführt wird.

Die hochqualitative Streamingübertragung mit QoS-Technologie von Sony wurde verbessert

Die Qualität der Streamingübertragung wurde durch Verwendung der Netzwerkempfangsstation PWS-100RX1 (optional, V1.2 oder höher), die weitere Einstellungen ermöglicht, verbessert.

Kompatibel mit der SDXC-Speicherkarte

Der WLAN-Adapter ist mit der SDXC-Speicherkarte kompatibel.

Hinweis

Der einwandfreie Betrieb kann nicht für alle Speicherkarten garantiert werden.

Wichtige in V2.1 aktualisierte Funktionen

Mit 5 GHz kompatibles WLAN-Modul CBK-WA02 (gesondert erhältlich)

Wenn das mit 5 GHz kompatible WLAN-Modul installiert wird, wird „Auto (5GHz)“ unter „Settings“ > „System Settings“ > „AP Settings“ > „Channel Select“ hinzugefügt.

Sie können über „Station Settings“ > „SSID“ auf den mit 5 GHz kompatiblen Zugangspunkt zugreifen.

Hinweis

Je nach WLAN-Modul wird „Auto (5GHz)“ möglicherweise nicht angezeigt. Zudem wird „Auto (5GHz)“ nicht angezeigt, wenn das WLAN-Modul für ein Land bzw. eine Region bestimmt ist, in dem die Verwendung des 5-GHz-Frequenzbereichs im Freien untersagt ist. Überprüfen Sie, ob das WLAN-Modul in dem Land bzw. der Region unterstützt wird, wo der WLAN-Adapter verwendet wird. Einzelheiten dazu finden Sie in der Bedienungsanleitung zum WLAN-Modul.

Kontrollfunktion von Content Browser Mobile

Das Videobild wird bei der Kontrolle aufgrund der Signalbedingungen beim Gebrauch oder aufgrund von Mobilgeräten möglicherweise angehalten.

Wichtige in V2.0 aktualisierte Funktionen

Neue Funktion für hochqualitative Streamingübertragung mit QoS-Technologie von Sony

Der CBK-WA100/WA101 unterstützt die Funktion für hochqualitative Streamingübertragung mit QoS-Technologie von Sony über eine LTE/4G-Verbindung, wenn der neu hinzugefügte Network Client-Modus mit der Sony-Netzwerkempfangsstation PWS-100RX1 (optional) verwendet wird.

- Sie können den Network Client-Modus ein- bzw. ausschalten und die Verbindungseinstellungen unter „Settings“ > „System Settings“ > „Network Client Mode Settings“ vornehmen.
- Einstellungen für das Streaming und die Bedienung werden an der PWS-100RX1 im Network Client-Modus vorgenommen.

Hinweise

- Der CBK-WA100/WA101 kann im Network Client-Modus keine Proxydateien aufzeichnen und hochladen. Wenn Sie beim Aufzeichnen oder Hochladen von Proxydateien in den Network Client-Modus wechseln, wird das Aufzeichnen bzw. Hochladen von Proxydateien automatisch abgebrochen.
- Die Funktion für die Streamingübertragung im Network Client-Modus kann nicht gleichzeitig mit der normalen Übertragungs- oder Kontrollfunktion verwendet werden.
- In einer Umgebung mit WLAN oder verkabeltem LAN kann es zu Bildverzerrungen kommen, wenn ein Kommunikationsband vorübergehend nicht ausreichend gesichert ist.

Zusätzliches Aufnahmeformat

Sie können „1280×720 (6Mbps)“ als Aufnahmeformat für Proxydateien auswählen.

- Sie können die Auswahl unter „Settings“ > „Proxy Format“ > „Size“ vornehmen.

Kompatibel mit der Web/Cam Remote-Funktion über den USB-RJ45-Adapter

Sie können auf das Web-Menü des CBK-WA100/WA101 oder die Fernbedienungsseite des kompatiblen Camcorders zugreifen, wenn Sie den USB-RJ45-Adapter CBK-NA1 (optional) verwenden.

- Sie können die Funktion unter „Settings“ > „Wired LAN Settings“ > „Web/Cam Remote“ ein- bzw. ausschalten.

Hinweis

Es empfiehlt sich, den CBK-WA100/WA101 für diese Funktion vom Internet zu trennen, um unbefugten Zugriff zu verhindern.

Neue Funktion zur Schlüsselszenenmarkierung

Wird beim Aufnehmen mit dem Camcorder eine Schlüsselszenenmarkierung gesetzt, so wird diese Schlüsselszenenmarkierung auch in der Proxydatei gesetzt, nachdem die synchronisierte Aufnahme abgeschlossen ist.

Hinweis

Kompatibel sind die Camcorder PMW-50/RX50/150/160/200/300/400/500 und PXW-X320. Diese Funktion ist nur bei Proxydateien verfügbar, die die Informationen und Aufzeichnungsdauer von einer auf dem Camcorder aufgezeichneten Originaldatei übernommen haben. Wenn die Originaldatei geteilt wird, wird die Schlüsselszenenmarkierung in der Proxydatei nicht gesetzt.

Kompatibel mit der Funktion zur Aufnahme von GPS-Informationen

Sie können die GPS-Informationen zu Proxydateien aufzeichnen, wenn der CBK-WA100/WA101 an einen Camcorder mit HD-SDI-Signalen angeschlossen ist, die GPS-Informationen enthalten.

Hinweis

Kompatibel ist der Camcorder PDW-850.

Kompatibel mit dem teilweisen Hochladen von Proxydateien

Sie können in der aufgezeichneten Proxydatei einen Anfangs- und einen Endpunkt festlegen und die Proxydatei teilweise hochladen. Verwenden Sie dazu die App „Content Browser Mobile“ der Version 2.0 oder höher.

Hinweis

Vor bzw. nach der Position des Anfangs- bzw. Endpunkts von teilweise hochgeladenen Proxydateien wird ein Rand aus bis zu 15 Vollbildern hinzugefügt.

Geändertes Format für die Kontrolle

Die Einstellung „640x360 (3Mbps)“ für „Size“ steht nicht mehr als Format für die Kontrolle zur Verfügung. Wenn Sie diese Einstellung verwenden, wird „Size“ auf „480x270 (1Mbps)“ gesetzt.

Wichtige in V1.3 aktualisierte Funktionen

Neue Funktion für die Streamingübertragung

Es gibt jetzt eine Streamingfunktion zum Übertragen des Live-Videobilds des Camcorders über das Internet oder ein lokales Netzwerk.

Das Streaming ist mit den Übertragungsmethoden MPEG2-TS/UDP und MPEG2-TS/RTP kompatibel.

- Aufgrund der neuen Streamingfunktion ist „Format“ im Menü „Settings“ jetzt in „Streaming Format“ und „Proxy Format“ unterteilt. „Streaming“ wurde in „Monitoring“ geändert.
- Sie können die Streamingübertragung ein- bzw. ausschalten und unter „Settings“ > „Streaming Format“ > „Streaming“ eine Voreinstellung auswählen bzw. bearbeiten.

Hinweise

- Wenn Sie das Streaming starten, können die Aufzeichnung einer Proxydatei und die Dateiübertragung nicht ausgeführt werden.
Wenn Sie das Streaming während der Aufzeichnung einer Proxydatei oder der Dateiübertragung starten, werden die Aufzeichnung der Proxydatei und die Dateiübertragung automatisch abgebrochen.
- Die Kontrollfunktion kann nicht gleichzeitig verwendet werden.
- Bild- und Tonverzerrungen oder -aussetzer können je nach der Situation im Netzwerk am Empfangsgerät auftreten.

Kompatibel mit dem USB-RJ45-Adapter

Der WLAN-Adapter kann über den USB-RJ45-Adapter CBK-NA1 (optional) mit einem verkabelten Netzwerk (LAN-Kabel) verbunden werden.

Die Einstellungen für ein verkabeltes Netzwerk werden unter „Wired LAN Settings“ im Menü „Settings“ vorgenommen.

Wichtige in V1.22 aktualisierte Funktionen

Weitere kompatible Modelle

Die PDW-850/750 und die PMW-RX50 sind mit dem WLAN-Adapter kompatibel.

Die folgenden Funktionen stehen zur Verfügung, wenn Sie eine USB-Verbindung zur PDW-850/750 bzw. PMW-RX50 herstellen.

- Anzeige des Modus am CBK-WA100 und der Restkapazität der SD-Karte im Sucher (PDW-850/750) bzw. auf dem LCD-Monitor (PMW-RX50)
- Übertragung einer Originaldatei (hohe Auflösung)

Angaben des Ordners für das Hochladen über FTP

Die Methode der Ordnerangabe für das Hochladen über FTP wurde verbessert.

Sie können den Ordner für das Hochladen jetzt vor dem Hochladen im Bildschirm „Upload Settings“ festlegen.

Wichtige in V1.1 aktualisierte Funktionen

Zusätzliches Aufnahmeformat

480x270 (0,5 Mbps) kann als Aufnahmeformat ausgewählt und unter „Streaming“ oder „Proxy File recording“ eingestellt werden. Verwenden Sie die Einstellung „Size“ unter „Streaming“ oder „Proxy File recording“ in „Settings“ > „Format“.

Änderung bei der Audiokanaleinstellung

Als Audiokanaleinstellung sind unter „Proxy File recording“ die Einstellungen „Ch-1 & Ch-2“ und „Ch-3 & Ch4“ verfügbar.

Erweiterte Übertragungsfunktion

- Die Dateiübertragung und die Aufnahme der Proxy-Datei können gleichzeitig ausgeführt werden.
- Kompatibel mit sicherer FTP-Übertragung (FTPS).
Der CBK-WA100/WA101 ist mit der Funktion zum Laden des Zertifikats einer Zertifizierungsstelle kompatibel.
Wenn Sie den neuen Server mit „Create New“ unter „Settings“ > „Upload Settings“ > „Server Settings“ einstellen, können Sie FTPS mit „Using Secure Protocol“ aktivieren/deaktivieren. Das Zertifikat einer Zertifizierungsstelle können Sie mit „Load“ unter „Load Certification“ laden.

Hinweis

Diese Funktion steht nur auf einem Server zur Verfügung, der mit FTPS oder dem Zertifikat einer Zertifizierungsstelle kompatibel ist.

- Kompatibel mit der Fortsetzungsfunktion bei der FTP-Übertragung.
Wenn die Dateiübertragung fehlschlägt, wird die Dateiübertragung beim erneuten Übertragen an der Stelle fortgesetzt, an der sie abgebrochen wurde.

Hinweis

Diese Funktion steht nur auf einem Server zur Verfügung, der mit der Fortsetzungsfunktion kompatibel ist.
Wenn die Dateiübertragung fehlschlägt, blinkt die Anzeige STATUS orange.

- Kompatibel mit der Funktion zur automatischen Übertragung nach dem Aufnehmen.
Die Funktion zur automatischen Übertragung lässt sich unter „Settings“ > „Upload Settings“ > „Auto upload On/Off“ ein- bzw. ausschalten.

Hinweis

Der Zielfolder wird nach dem in „Datei auswählen und hochladen“ ausgewählten Ordner benannt. Wenn kein Zielfolder eingestellt ist, wird er im Datumsformat benannt.

- Kompatibel mit der Anzeige „Transfer data rate“ und „Remain time“ auf dem Bildschirm „Job List“.

Hinweis

Die angezeigten Werte sind Näherungswerte. Je nach der WLAN-Umgebung oder dem Verbindungsstatus eines 3G/4G/LTE-Netzwerks können die Werte höher oder niedriger ausfallen.

Neue Zugangspunkteinstellung

- Der WLAN-Kanal kann unter „Settings“ > „AP Settings“ > „Channel Select“ manuell ausgewählt werden.

Hinweis

- Als Einstellungen können 1 bis 13 und Auto ausgewählt werden.
- Das Passwort kann unter „Settings“ > „AP Settings“ > „Key“ geändert werden.
- Der aktuelle Kanal wird in „Current channel“ unter „Settings“ > „Wireless LAN“ > „Status“ angezeigt.

Fehleranzeige für die Ci-Authentifizierung

Wenn beim Verbinden mit Ci ein Fehler auftritt, erscheint die Anzeige „E03-005 Authentication failed“ und die Anzeige STATUS blinkt orange (im Abstand von 0,5 Sekunden).

Verbindungsanzeige für den STA-Modus

Die Anzeige STATUS blinkt hellgrün (im Abstand von 0,5 Sekunden), solange die Verbindung mit dem Modem im STA-Modus besteht.

Kompatibel mit SD-SDI-Signalen

Der CBK-WA100/WA101 ist mit dem Einspeisen von SD-SDI-Signalen kompatibel.

Hinweis

Beim Einspeisen von SD-SDI-Signalen steht das Synchronisieren der Aufnahme mit dem Camcorder nicht zur Verfügung.

Keine Suchfunktion auf dem Bildschirm „Station Settings“ mehr

Auf dem Bildschirm „Station Settings“ gibt es keine Suchfunktion mehr. Stellen Sie die Verbindung mit der WPS-Funktion her oder geben Sie die SSID ein.

Wichtige in V1.06 aktualisierte Funktionen

Suchfunktion von Content Browser Mobile für iOS.

Die Suchfunktion ist kompatibel mit Content Browser Mobile für iOS.

Sie müssen für diese Funktion die neueste Version von Content Browser Mobile installieren.

Italiano

Nota di rilascio

Funzioni principali aggiornate con V3.1

Impostazioni modalità client di rete multiple

È possibile memorizzare le impostazioni della modalità client di rete fino a 3 valori programmati.

Le impostazioni sono memorizzate in „System Settings“ > „Network Client Mode Settings“ > „Preset 1“ - „Preset 3“.

Come evitare conflitti di indirizzo IP

Quando si utilizza contemporaneamente la LAN wireless (modalità AP) e il modem USB 3G/4G/LTE per Ethernet e l'indirizzo IP del modem è uguale a quello della LAN wireless (modalità AP) 192.168.1.x, l'indirizzo IP della LAN wireless (modalità AP) è 10.0.0.1 per evitare conflitti.

In questo caso, accedere all'adattatore wireless tramite <http://10.0.0.1:8080/>.

Funzioni principali aggiornate con la V3.0

Compatibile con XDCAM air

L'adattatore wireless può garantire caricamento di file e trasmissione streaming di alta qualità quando collegato a Connection Control Manager di XDCAM air.

Nota

XDCAM air è un servizio cloud fornito da Sony.

Per utilizzare questo servizio, è richiesta la registrazione. XDCAM air non viene fornito in alcune regioni. Per maggiori informazioni sulle aree in cui viene fornito in servizio, fare riferimento al seguente sito.

<https://www.xdcam-air.com>

Per maggiori informazioni, contattare un rappresentante vendite Sony professionale.

Qualità della trasmissione streaming migliorata

Con la linea 4G/LTE e la modalità della stazione LAN wireless (modalità STA), è possibile eseguire una comunicazione in streaming stabile mediante due reti.

Nota

Questa funzione è disponibile quando „Proxy Recording“ è impostato su „Off“ o non è possibile impostarlo.

Per ottenere prestazioni stabili, utilizzare un gestore diverso per la linea 4G/LTE e la LAN wireless.

Trasferimento di un file di metadati di pianificazione

È possibile trasferire il file di metadati di pianificazione quando „Auto Upload“ è impostato su „On“.

Funzioni principali aggiornate con la V2.4

È stato aggiunto il formato di registrazione

È possibile selezionare „HD/SD Auto“ per il formato di registrazione del file proxy.

È possibile selezionare in „Settings“ > „Proxy Format“ > „Size“.

Note

- Con „HD/SD Auto“ impostato, il formato viene impostato automaticamente dal segnale immesso dal connettore SDI IN. La registrazione proxy non è disponibile quando il segnale in ingresso SDI è 23.98PsF.

- Il file proxy registrato con „HD/SD Auto“ potrebbe non essere riprodotto con il browser Web e Content Browser Mobile. Inserire la scheda SD con il file proxy registrato nel computer direttamente per la riproduzione.

È stato aggiunto il formato di streaming

È possibile selezionare un formato di velocità in bit inferiore.

È possibile selezionare il seguente formato tramite „Settings“ > „Streaming Format“ > „Preset“.

„Size“ 480 × 270: „Bit Rate“ 0,3 Mbps(Mono L)/0,3 Mbps(Mono R)

„Size“ 480 × 270: „Bit Rate“ 0,2 Mbps(Mono L)/0,2 Mbps(Mono R)

„Size“ 320 × 180: „Bit Rate“ 0,2 Mbps(Mono L)/0,2 Mbps(Mono R)

Nota

In questo caso, la velocità dei fotogrammi video è 10fps e la frequenza di campionamento audio è 48 kHz e la velocità bit Audio è 56 kbps per Mono.

Funzioni principali aggiornate con la V2.3

Trasferimento parziale di un file originale registrato sul camcorder

Utilizzando l'applicazione "Content Browser Mobile" versione 2.2 o successive, è possibile trasferire un ritaglio di un file specificando opportuni punti IN e OUT nel file originale registrato su un camcorder.

È possibile inoltre trasferire ritagli di più file utilizzando lo Storyboard.

Nota

Le videocamere compatibili sono PMW-RX50 (Ver.1.3 o successive), PMW-400 (Ver.1.6 o successive), PXW-X320 (Ver.1.1 o successive) e PDW-850 (Ver.3.0 o successive).

Funzioni principali aggiornate con la V2.2

Le funzioni nella modalità client di rete sono state espanse

- È possibile caricare il file proxy sul server configurato nel Connection Control Manager della stazione di ricezione di rete PWS-100RX1 (opzionale, V1.2 o successive).
- Compatibile con la registrazione proxy nella modalità client di rete.

È possibile attivare/disattivare la registrazione proxy in "Settings" > "System Settings" > "Network Client Mode Settings" > "Proxy Recording".

Nota

La velocità di trasmissione in bit dello streaming alla stazione di ricezione di rete PWS-100RX1 è limitata quando si esegue la registrazione proxy.

La funzione di trasmissione streaming ad alta qualità con la tecnologia QoS Sony è stata migliorata

La qualità della trasmissione streaming è stata migliorata grazie all'uso con la stazione di ricezione di rete PWS-100RX1 (opzionale, V1.2 o successive) che consente ulteriori controlli e impostazioni.

Compatibile con la scheda di memoria SDXC

L'adattatore wireless è compatibile con la scheda di memoria SDXC.

Nota

Il funzionamento non è garantito per tutte le schede di memoria.

Funzioni principali aggiornate con la V2.1

Modulo LAN wireless 5GHz compatibile (venduto a parte) CBK-WA02

Quando è installato il modulo LAN wireless 5GHz compatibile wireless, "Auto (5GHz)" viene aggiunto in "Settings" > "System Settings" > "AP Settings" > "Channel Select".

È possibile accedere ai punti di accesso 5GHz compatibili tramite "Station Settings" > "SSID".

Nota

In base al modulo LAN wireless, "Auto (5GHz)" potrebbe non comparire. "Auto (5GHz)" non compare inoltre se il modulo LAN wireless è per il paese/regione che vieta l'uso della banda 5GHz all'esterno. Verificare che il modulo LAN wireless sia compatibile con il paese/regione di utilizzo dell'adattatore LAN wireless. Per

ulteriori dettagli, consultare le istruzioni di funzionamento del modulo LAN.

Funzione di monitoraggio di Content Browser Mobile

L'immagine video potrebbe bloccarsi durante il monitoraggio a causa delle condizioni del segnale quando utilizzato su dispositivi mobili.

Funzioni principali aggiornate con la V2.0

Aggiunta la funzione di trasmissione streaming ad alta qualità con tecnologia QoS Sony

CBK-WA100/WA101 è compatibile con la funzione di trasmissione streaming ad alta qualità con tecnologia QoS Sony tramite linea LTE/4G grazie alla nuova modalità Network Client con stazione di ricezione di rete Sony PWS-100RX1 (opzionale).

- È possibile attivare/disattivare la modalità Network Client ed eseguire le impostazioni di connessione in "Settings" > "System Settings" > "Network Client Mode Settings".
- Le impostazioni e i controlli per lo streaming sono eseguiti su PWS-100RX1 in modalità Network Client.

Note

- CBK-WA100/WA101 non può registrare e caricare file proxy in modalità Network Client. Quando si passa alla modalità Network Client durante la registrazione o il caricamento di file proxy, la registrazione o il caricamento dei file proxy viene annullato automaticamente.
- La funzione di trasmissione streaming della modalità Network Client non può essere utilizzata contemporaneamente alla normale funzione di trasmissione o monitoraggio.
- In ambiente LAN wireless o LAN cablata, in alcuni casi può verificarsi una distorsione dell'immagine in quanto temporaneamente non è disponibile una banda di comunicazione sufficiente.

Aggiunto un formato di registrazione

È possibile selezionare "1280x720 (6Mbps)" come formato di registrazione del file proxy.

- È possibile eseguire la selezione in "Settings" > "Proxy Format" > "Size".

Compatibile con la funzione Web/Cam Remote tramite l'adattatore USB-RJ45

È possibile accedere al menu Web di CBK-WA100/WA101 o alla pagina remota della videocamera compatibile utilizzando l'adattatore USB-RJ45 CBK-NA1 (opzionale).

- È possibile attivare/disattivare la funzione in "Settings" > "Wired LAN Settings" > "Web/Cam Remote".

Nota

Si consiglia di utilizzare questa funzione quando CBK-WA100/WA101 non è collegato ad Internet per evitare accessi non autorizzati.

È stata aggiunta la funzione per contrassegnare gli indicatori essenziali

Quando un indicatore essenziale è contrassegnato mentre la videocamera sta registrando, tale indicatore essenziale verrà anche contrassegnato su un file proxy al termine della registrazione asservita.

Nota

Le videocamere compatibili sono PMW-50/RX50/150/160/200/300/400/500 e PXW-X320. Questa funzione è utilizzabile solo per file proxy che ereditano informazioni e durata della registrazione da un file originale registrato sulla videocamera. Se il file originale

è diviso, l'indicatore essenziale non è contrassegnato sul file proxy.

Compatibile con la funzione di registrazione di informazioni GPS

È possibile registrare informazioni GPS su file proxy quando CBK-WA100/WA101 è connesso ad una videocamera con segnale HD-SDI che include informazioni GPS.

Nota

La videocamera compatibile è PDW-850.

Compatibile con il caricamento parziale di file proxy

È possibile specificare un punto di ingresso/uscita sul file proxy registrato e caricare parzialmente tale file proxy utilizzando l'applicazione "Content Browser Mobile" della versione 2.0 o successiva.

Nota

Nei file proxy caricati parzialmente, prima o dopo la posizione del punto di ingresso/uscita vengono aggiunti fino a 15 margini di fotogrammi.

Formato di monitoraggio modificato

"640x360 (3Mbps)" per "Size" è stato eliminato dal formato di monitoraggio. Se si utilizza questa impostazione, "Size" è impostato a "480x270 (1Mbps)".

Funzioni principali aggiornate con la V1.3

Aggiunta la funzione di trasmissione streaming

Aggiunta la funzione di trasmissione streaming che trasmette l'immagine video live della videocamera tramite Internet o rete locale.

Lo streaming è compatibile con i metodi di trasmissione MPEG2-TS/UDP e MPEG2-TS/RTP.

- "Format" nel menu "Settings" è suddiviso in "Streaming Format" e "Proxy Format" a seguito dell'aggiunta della funzione di streaming. "Streaming" è ora cambiato in "Monitoring".
- È possibile attivare/disattivare la trasmissione streaming e selezionare/modificare il valore programmato in "Settings" > "Streaming Format" > "Streaming".

Nota

- Se si avvia lo streaming, non sarà possibile eseguire la registrazione proxy e il trasferimento di file.
Se si avvia lo streaming durante la registrazione proxy o il trasferimento di file, la registrazione proxy e il trasferimento di file saranno annullati automaticamente.
- Non è possibile utilizzare contemporaneamente la funzione di monitoraggio.
- In funzione dello stato della rete, sul lato di ricezione dell'attrezzatura potrebbero verificarsi distorsioni o sospensioni dell'immagine o del suono.

Compatibile con l'adattatore USB-RJ45

L'adattatore wireless può essere collegato alla rete cablata (cavo LAN) connettendo l'adattatore USB-RJ45 CBK-NA1 (opzionale). Le impostazioni per la rete cablata vengono eseguite in "Wired LAN Settings" del menu "Settings".

Funzioni principali aggiornate con la V1.22

Aggiunti modelli compatibili

PDW-850/750 e PMW-RX50 sono compatibili con l'adattatore wireless.

Le seguenti funzionalità sono disponibili collegandosi a PDW-850/750 e PMW-RX50 mediante connessione USB.

- Visualizzazione dell'indicazione di modalità per CBK-WA100 e indicazione dello spazio residuo nella scheda SD sul mirino (PDW-850/750) o sul monitor LCD (PMW-RX50)
- Trasferimento di un file originale (alta risoluzione)

Specifica della cartella per caricamento su FTP

Il metodo per specificare la cartella per il caricamento su FTP è stato migliorato.

È possibile specificare la cartella per il caricamento nella schermata "Upload Settings" prima del caricamento.

Funzioni principali aggiornate con la V1.1

È stato aggiunto il formato di registrazione

È possibile selezionare 480x270 (0,5 Mbps) come formato che è possibile impostare in "Streaming" o "Proxy File recording". Utilizzare l'impostazione "Size" di "Streaming" o "Proxy File recording" in "Settings" > "Format".

L'impostazione del Canale audio è stata cambiata

L'impostazione del canale audio che è possibile impostare in "Proxy File recording" è "Ch-1 & Ch-2" e "Ch-3 & Ch4".

La funzione di trasferimento è stata espansa

- La funzione di registrazione file proxy e trasferimento file può essere eseguita contemporaneamente.
- Compatibile con il trasferimento FTP protetto (FTPS).
Il CBK-WA100/WA101 è compatibile con la funzione di caricamento certificato CA.
Se si imposta il nuovo server con "Create New" in "Settings" > "Upload Settings" > "Server Settings", è possibile impostare FTPS su attivato/disattivato con "Using Secure Protocol". Il certificato CA può essere caricato mediante "Load" in "Load Certification".

Nota

Questa funzione è disponibile solo sul server compatibile con certificazione FTPS o CA.

- Compatibile con la funzione di ripristino per il trasferimento FTP.
Il trasferimento file, se non riesce, viene avviato dal punto in cui non è riuscito al momento del ritrasferimento.

Nota

Questa funzione è disponibile solo sul server compatibile con la funzione di ripristino.
Se il trasferimento file non riesce, l'indicatore STATUS lampeggia in arancione.

- Compatibile con la funzione di trasferimento automatico dopo la registrazione.
La funzione di trasferimento automatico può essere attivata/disattivata in "Settings" > "Upload Settings" > "Auto upload On/Off".

Nota

La cartella di destinazione è denominata in base alla cartella impostata, selezionata in "Selezione del file e caricamento".
Quando non viene impostata una cartella di destinazione, questa verrà denominata in base al formato della data.

- Compatibile con l'indicazione "Transfer data rate" e "Remain time" nella schermata "Job List".

Nota

Il valore indicato è solo stimato. Il valore può aumentare o diminuire in base all'ambiente della LAN wireless o allo stato della connessione di una rete 3G/4G/LTE.

È stata aggiunta l'impostazione del Punto di accesso

- È possibile selezionare manualmente il canale LAN wireless in "Settings" > "AP Settings" > "Channel Select".

Nota

Le impostazioni selezionabili sono da 1 a 13 e Auto.

- È possibile modificare la password in "Settings" > "AP Settings" > "Key".
- Il canale corrente è visualizzato in "Current channel" di "Settings" > "Wireless LAN" > "Status".

Indicazione di errore per l'autenticazione Ci

Se si verifica un errore durante la connessione a Ci, compare l'indicazione "E03-005 Authentication failed" e l'indicatore STATUS lampeggia in arancione (a intervalli di 0,5 secondi).

Indicazione di connessione per la modalità STA

L'indicatore STATUS lampeggia in verde chiaro (a intervalli di 0,5 secondi) quando è collegato al modem in modalità STA.

Compatibile con i segnali SD-SDI

Il CBK-WA100/WA101 è compatibile con l'immissione del segnale SD-SDI.

Nota

Mentre vengono immessi i segnali SD-SDI, la registrazione di interblocco con la videocamera non è disponibile.

È stata eliminata la funzione di ricerca della schermata "Station Settings"

La funzione di ricerca della schermata "Station Settings" è stata eliminata. Eseguire il collegamento con la funzione WPS o immettere l'SSID.

Funzioni principali aggiornate con la V1.06

Funzione di ricerca di Content Browser Mobile per iOS.

La funzione di ricerca è compatibile con Content Browser Mobile per iOS.

Per utilizzare questa funzione, è necessario installare Content Browser Mobile.

Español

Nota de la versión

Principales funciones actualizadas con la V3.1

Múltiples ajustes de modo cliente de red

Es posible guardar los ajustes de modo cliente de red en hasta 3 preajustes.

Los ajustes se guardan en "System Settings" > "Network Client Mode Settings" > "Preset 1" - "Preset 3".

Eliminación de conflictos de direcciones IP

Si se utiliza una LAN inalámbrica (modo AP) y el módem 3G/4G/LTE USB para Ethernet de forma simultánea y la dirección IP del módem es la misma que la de la LAN inalámbrica (modo AP) 192.168.1.x, la dirección IP de la LAN inalámbrica (modo AP) es 10.0.0.1, para evitar conflictos.

En este caso, acceda al adaptador inalámbrico a través de <http://10.0.0.1:8080/>.

Principales funciones actualizadas con V3.0

Compatible con XDCAM air

El adaptador inalámbrico puede realizar transmisiones en streaming de alta calidad y cargar archivos si se utiliza conectado al Connection Control Manager de XDCAM air.

Nota

XDCAM air es un servicio en la nube prestado por Sony.

Para utilizar este servicio, es necesario registrarse.

XDCAM air no está disponible en algunas regiones. Para obtener más información sobre las zonas en las que el servicio está disponible, visite el sitio web indicado a continuación.

<https://www.xdcam-air.com>

Si desea más información, póngase en contacto con un comercial de productos profesionales de Sony.

La calidad de la transmisión en streaming se ha mejorado

Con la línea 4G/LTE y el modo de estación LAN inalámbrica (modo STA), es posible obtener una comunicación de difusión en tiempo real estable entre dos redes.

Nota

Esta función está disponible cuando "Proxy Recording" está ajustado en "Off" o no puede ajustarse.

Para obtener un rendimiento más estable, utilice la línea 4G/LTE y la LAN inalámbrica con otro proveedor.

Transferencia de un archivo de metadatos de planificación

Puede transferir el archivo de metadatos de planificación cuando "Auto Upload" está ajustado en "On".

Principales funciones actualizadas con V2.4

Formato de grabación añadido

Puede seleccionar "HD/SD Auto" como formato de grabación del archivo proxy.

Puede seleccionarlo en "Settings" > "Proxy Format" > "Size".

Notas

- Con "HD/SD Auto" configurado, el formato viene ajustado automáticamente por la señal recibida a través del conector SDI IN.

La grabación de proxy no está disponible cuando la señal de entrada del SDI es de 23.98PsF.

- Es posible que el archivo proxy grabado con "HD/SD Auto" no pueda reproducirse con el navegador web ni con Content Browser Mobile.

Inserte la tarjeta SD con el archivo proxy grabado en el ordenador para reproducirlo.

Formato de streaming añadido

Puede seleccionar un formato de velocidad de bits inferior.

Puede seleccionar el formato siguiente a través de "Settings" > "Streaming Format" > "Preset".

"Size" 480 × 270: "Bit Rate" 0,3 Mbps(Mono L)/0,3 Mbps(Mono R)

"Size" 480 × 270: "Bit Rate" 0,2 Mbps(Mono L)/0,2 Mbps(Mono R)

"Size" 320 × 180: "Bit Rate" 0,2 Mbps(Mono L)/0,2 Mbps(Mono R)

Nota

En este caso, la velocidad de fotogramas de vídeo es de 10fps, la frecuencia de muestreo de audio es de 48 kHz y la velocidad de bits de audio es de 56 kbps para Mono.

Principales funciones actualizadas con V2.3

Transferencia parcial de un archivo original grabado en un camcorder

Si utiliza la aplicación "Content Browser Mobile" versión 2.2 o posterior, puede transferir una parte recortada de un archivo especificando los puntos de entrada y de salida en el archivo original grabado por un camcorder.

Además, puede transferir las partes recortadas de varios archivos utilizando el Guión gráfico.

Nota

Las videocámaras compatibles son PMW-RX50 (versión 1.3 o posterior), PMW-400 (versión 1.6 o posterior), PXW-X320 (versión 1.1 o posterior) y PDW-850 (versión 3.0 o posterior).

Principales funciones actualizadas con V2.2

Incorporación de nuevas funciones al modo cliente de red

- El archivo proxy puede cargarse al servidor configurado en el Connection Control Manager de la Estación de RX de red PWS-100RX1 (opcional, V1.2 o posterior).
- Compatible con la grabación proxy en el modo cliente de red. Puede activar o desactivar la grabación proxy en "Settings" > "System Settings" > "Network Client Mode Settings" > "Proxy Recording".

Nota

La velocidad de bits para la difusión en tiempo real a la Estación de RX de red PWS-100RX1 está limitada cuando se realiza una grabación proxy.

Mejora de la función de transmisión de difusión en tiempo real de alta calidad con la tecnología QoS de Sony

La calidad de la transmisión de difusión en tiempo real se ha mejorado gracias a la utilización de la Estación de RX de red PWS-100RX1 (opcional, V1.2 o posterior), que ofrece más ajustes y controles.

Compatible con la tarjeta de memoria SDXC

El adaptador inalámbrico es compatible con la tarjeta de memoria SDXC.

Nota

No se garantiza el funcionamiento de todas las tarjetas de memoria.

Principales funciones actualizadas con V2.1

Módulo LAN inalámbrico CBK-WA02 compatible con 5 GHz (vendido por separado)

Cuando se instala el módulo LAN inalámbrico compatible con 5 GHz, "Auto (5GHz)" se añade a "Settings" > "System Settings" > "AP Settings" > "Channel Select".

Puede acceder a los puntos compatibles con 5 GHz a través de "Station Settings" > "SSID".

Nota

En función del módulo LAN inalámbrico, es posible que "Auto (5GHz)" no aparezca. "Auto (5GHz)" tampoco aparece si el módulo LAN inalámbrico está destinado a un país/región que prohíbe el uso de la banda de 5 GHz en exteriores. Compruebe que el módulo LAN inalámbrico es compatible con el país o la región donde se utiliza el adaptador LAN inalámbrico. Para obtener más información, consulte el manual de instrucciones del módulo LAN inalámbrico.

Función de monitorización de Content Browser Mobile

La imagen de vídeo puede detenerse durante la monitorización a causa de problemas con la señal al utilizarla en dispositivos móviles.

Principales funciones actualizadas con V2.0

Incorporación de la función de transmisión vía streaming de alta calidad con la tecnología QoS de Sony

El CBK-WA100/WA101 es compatible con la función de transmisión vía streaming de alta calidad con la tecnología QoS de Sony a través de una línea LTE/4G utilizando el nuevo modo

Network Client con la Estación de RX de red Sony PWS-100RX1 (opcional).

- Es posible activar o desactivar el modo Network Client y configurar los ajustes de conexión en "Settings" > "System Settings" > "Network Client Mode Settings".
- Los ajustes y controles de streaming se realizan en el PWS-100RX1 durante el modo Network Client.

Notas

- El CBK-WA100/WA101 no puede grabar ni cargar archivos proxy durante el modo Network Client. Al pasar al modo Network Client durante la grabación o la carga de archivos proxy, la grabación o la carga de archivos proxy se cancela automáticamente.
- La función de transmisión vía streaming del modo Network Client no puede utilizarse con la función de transmisión normal o la función de control simultáneamente.
- En el entorno de una LAN inalámbrica o una LAN con cable, pueden producirse distorsiones en la imagen en función de la situación, porque de forma temporal una banda de comunicación no es lo suficientemente segura.

Incorporación del formato de grabación

Ahora puede seleccionar "1280x720 (6Mbps)" como formato de grabación de archivos proxy.

- Puede realizar la selección en "Settings" > "Proxy Format" > "Size".

Compatible con la función Web/Cam Remote a través del adaptador USB-RJ45

Puede acceder al menú web del CBK-WA100/WA101 o a la página remota de la videocámara compatible utilizando el adaptador USB-RJ45 CBK-NA1 (opcional).

- Puede activar o desactivar la función en "Settings" > "Wired LAN Settings" > "Web/Cam Remote".

Nota

Recomendamos utilizar esta función sin el CBK-WA100/WA101 conectado a Internet, para evitar accesos no autorizados.

Incorporación de la función de marcado con la Essence Mark

Cuando se aplica una Essence Mark mientras la videocámara está grabando, la Essence Mark se aplica también al archivo proxy una vez finalizada la grabación con interbloqueo.

Nota

Las videocámaras compatibles son los modelos PMW-50/RX50/150/160/200/300/400/500, PXW-X320. Esta función solo puede utilizarse con archivos proxy con la misma información y duración de la grabación que un archivo original grabado en la videocámara. Si el archivo original está dividido, la Essence Mark no se aplica al archivo proxy.

Compatible con la función de grabación de información GPS

Puede grabar información GPS en archivos proxy cuando el CBK-WA100/WA101 está conectado a una videocámara con señales HD-SDI que incluyen información GPS.

Nota

La videocámara compatible es el modelo PDW-850.

Compatible con la carga parcial de archivos proxy

Puede especificar un punto de entrada/salida en el archivo proxy grabado y cargar el archivo proxy parcialmente utilizando la aplicación "Content Browser Mobile" en su versión 2.0 o posterior.

Nota

Se añaden hasta 15 márgenes de fotograma antes o después de la posición del punto de entrada/salida en los archivos proxy cargados parcialmente.

Cambio de formato de monitorización

La opción "640×360 (3Mbps)" de "Size" ha desaparecido de las opciones de formato de monitorización. Si utiliza este ajuste, "Size" se ajusta en "480×270 (1Mbps)".

Principales funciones actualizadas con V1.3

Incorporación de la función de transmisión vía streaming

Se ha añadido la función de transmisión vía streaming, que permite transmitir vídeo en directo de la videocámara a través de Internet o una red local.

La transmisión vía streaming es compatible con los métodos de transmisión MPEG2-TS/UDP y MPEG2-TS/RTP.

- La opción "Format" del menú "Settings" se ha dividido entre "Streaming Format" y "Proxy Format" tras la introducción de la función de streaming. "Streaming" se ha convertido en "Monitoring".
- Tiene la opción de activar o desactivar la transmisión vía streaming y seleccionar o editar el preajuste en "Settings" > "Streaming Format" > "Streaming".

Notas

- Si inicia la difusión en tiempo real, no podrá realizar la grabación de proxy ni la transferencia de archivos.
- Si inicia la difusión en tiempo real durante la grabación proxy o la transferencia de archivos, la grabación proxy y la transferencia de archivos se cancelarán automáticamente.
- La función de control no puede utilizarse de forma simultánea.
- Pueden producirse distorsiones en la imagen/sonido o interrupciones en el equipo receptor, en función de la situación de la red.

Compatible con el adaptador USB-RJ45

El adaptador inalámbrico puede conectarse a la red por cable (cable LAN) conectando el adaptador USB-RJ45 CBK-NA1 (opcional).

Los ajustes de la red por cable pueden seleccionarse en la opción "Wired LAN Settings" del menú "Settings".

Principales funciones actualizadas con V1.22

Nuevos modelos compatibles

Los modelos PDW-850/750 y PMW-RX50 son compatibles con el adaptador inalámbrico.

Las siguientes funciones pueden utilizarse conectando los modelos PDW-850/750 y PMW-RX50 mediante una conexión USB.

- Muestra la indicación de modo de CBK-WA100 y la indicación del espacio restante en la tarjeta SD en el visor (PDW-850/750) o el monitor LCD (PMW-RX50)
- Transferencia de un archivo original (alta resolución)

Especificación de la carpeta para subir al FTP

La forma de especificar la carpeta para subir archivos al FTP se ha mejorado.

Ahora puede especificar la carpeta para subir archivos en la pantalla "Upload Settings" antes de la subida.

Principales funciones actualizadas con V1.1

Incorporación de un formato de grabación

Es posible seleccionar 480×270 (0,5 Mbps) como formato en "Streaming" o "Proxy File recording".

Utilice el ajuste "Size" de "Streaming" o "Proxy File recording" en "Settings" > "Format".

Modificación del ajuste de canal de audio

El ajuste del canal de audio que puede ajustarse en "Proxy File recording" es "Ch-1 & Ch-2" y "Ch-3 & Ch4".

Ampliación de la función de transferencia

- Las funciones de transferencia de archivos y de grabación de archivo proxy pueden utilizarse al mismo tiempo.
- Compatible con las transferencias FTP seguras (FTPS). El CBK-WA100/WA101 es compatible con la función de carga de certificados CA. Al configurar el nuevo servidor con "Create New" en "Settings" > "Upload Settings" > "Server Settings", puede activar o desactivar FTPS con "Using Secure Protocol". El certificado CA puede cargarse utilizando "Load" en "Load Certification".

Nota

Esta función solo está disponible en el servidor compatible con FTPS o la certificación CA.

- Compatible con la función de reanudación para las transferencias FTP. Si falla la transferencia del archivo, la transferencia del archivo se reanuda en el punto en el que se produjo el error.

Nota

Esta función solo está disponible en servidores compatibles con la función de reanudación.

Si falla la transferencia del archivo, el indicador STATUS parpadea de color naranja.

- Compatible con la función de transferencia automática después de la grabación. La función de transferencia automática puede activarse o desactivarse en "Settings" > "Upload Settings" > "Auto upload On/Off".

Nota

A la carpeta de destino se le asigna el nombre de la carpeta establecida seleccionada en "Selección del archivo y carga". Cuando no hay establecida una tarjeta de destino, se le asigna un nombre con formato de fecha.

- Compatible con la indicación de "Transfer data rate" y "Remain time" en la pantalla "Job List".

Nota

El valor indicado es un valor orientativo. El valor puede ser mayor o menor en función del entorno de la LAN inalámbrica o el estado de conexión a la red 3G/4G/LTE.

Incorporación de la configuración del punto de acceso

- El canal de la red LAN inalámbrica puede seleccionarse manualmente en "Settings" > "AP Settings" > "Channel Select".

Nota

Los ajustes seleccionables van de 1 a 13 y Auto.

- La contraseña puede modificarse en "Settings" > "AP Settings" > "Key".
- El canal actual aparece en "Current channel", en "Settings" > "Wireless LAN" > "Status".

Indicación de error para la autenticación Ci

Si se produce un error durante la conexión a Ci, aparece la indicación "E03-005 Authentication failed" y el indicador STATUS parpadea de color naranja (intervalos de 0,5 segundos).

Indicación de conexión para el modo STA

El indicador STATUS parpadea de color verde claro (intervalos de 0,5 segundos) mientras está conectado al módem en el modo STA.

Compatible con las señales SD-SDI

El CBK-WA100/WA101 es compatible con la entrada de señales SD-SDI.

Nota

Durante la recepción de señales SD-SDI, la grabación con interbloqueo con la videocámara no está disponible.

Interrupción de la función de búsqueda en la pantalla “Station Settings”.

Se ha interrumpido la función de búsqueda en la pantalla “Station Settings”. Conéctela con la función WPS o introduzca el SSID.

Principales funciones actualizadas con V1.06

Función de búsqueda de Content Browser Mobile para iOS.

La función de búsqueda es compatible con Content Browser Mobile para iOS.

Para utilizar esta función, hay que tener instalada la última versión de Content Browser Mobile.

中文

发行通知

V3.1更新的主要功能

多个网络客户端模式设定

网络客户端模式设定最多可存储为3个预设。
设定存储在“System Settings” > “Network Client Mode Settings” > “Preset 1”至“Preset 3”中。

避免IP地址冲突

当同时使用无线LAN（AP模式）和以太网的3G/4G/LTE USB调制解调器，且调制解调器的IP地址和无线LAN（AP模式）相同，即为192.168.1.x时，无线LAN（AP模式）的IP地址为10.0.0.1，以避免冲突。此时，请通过<http://10.0.0.1:8080/>访问无线适配器。

V3.0更新的主要功能

兼容XDCAM air

通过连接XDCAM air的Connection Control Manager使用无线适配器时，无线适配器可以执行高品质串流传输和文件上传。

注意

XDCAM air是Sony提供的云服务。
若要使用此服务，需要进行注册。
某些地区不提供XDCAM air。有关提供此服务地区的详细信息，请参阅以下网站。
<https://www.xdcam-air.com>
详情请联系Sony专业销售代表。

串流传输质量提升

通过4G/LTE线路和无线LAN站模式（STA模式），可由两个网络执行稳定的串流通讯。

注意

当“Proxy Recording”设定为“Off”时或无法设定，此功能可用。
为了确保稳定性能，请使用不同的4G/LTE线路和无线LAN运营商。

传输规划元数据文件

当“Auto Upload”设定为“On”时，可以传输规划元数据文件。

V2.4更新的主要功能

增加了记录格式

可以对代理文件记录格式选择“HD/SD Auto”。
可以在“Settings” > “Proxy Format” > “Size”上选择。

注意

- 当设定了“HD/SD Auto”时，格式由SDI IN 连接器输入的的信号自动设定。
当SDI输入信号为23.98PsF时，代理记录不可用。
- 可能无法通过网络浏览器和Content Browser Mobile播放以“HD/SD Auto”记录的代理文件。
将记录有代理文件的SD卡直接插入计算机进行播放。

增加了串流格式

可以选择较低的比特率格式。
可以通过“Settings” > “Streaming Format” > “Preset”选择以下格式。
“Size” 480 × 270: “Bit Rate” 0.3 Mbps(Mono L)/0.3 Mbps(Mono R)
“Size” 480 × 270: “Bit Rate” 0.2 Mbps(Mono L)/0.2 Mbps(Mono R)
“Size” 320 × 180: “Bit Rate” 0.2 Mbps(Mono L)/0.2 Mbps(Mono R)

注意

在此情况下，视频帧速率为10fps，音频采样频率为48 kHz且单声道的音频比特率为56 kbps。

V2.3更新的主要功能

部分传输摄像机上记录的原始文件

使用版本2.2或以上“Content Browser Mobile”应用程序时，可以通过在摄像机记录的原始文件中指定输入和输出点，传输文件的剪切部分。
还可以使用故事板传输多个文件的剪切部分。

注意

兼容的摄像机为PMW-RX50（Ver.1.3或更新版本）、PMW-580（Ver.1.6或更新版本）、PMW-EX330R（Ver.1.1或更新版本）和PDW-850（Ver.3.0或更新版本）。

V2.2更新的主要功能

扩展了网络客户端模式下的功能

- 代理文件可上传至在PWS-100RX1网络接收站（选购，V1.2或更新版本）的连接控制管理器中所设定的服务器。
- 兼容网络客户端模式下的代理记录。
可以在“Settings” > “System Settings” > “Network Client Mode Settings” > “Proxy Recording”中打开/关闭代理记录。

注意

执行代理记录时，PWS-100RX1网络接收站的串流比特率受限。

改进了采用**Sony QoS**技术的高质量串流传输功能

通过配合使用具有更多设定和控制器的PWS-100RX1网络接收站（选购，V1.2或更新版本），改进了串流传输质量。

兼容**SDXC**存储卡

无线适配器兼容SDXC存储卡。

注意

无法保证所有存储卡均能操作。

V2.1更新的主要功能

CBK-WA02 5GHz兼容无线LAN模块（另售）

当安装了5GHz兼容无线LAN模块时，“Settings” > “System Settings” > “AP Settings” > “Channel Select”中增加了“Auto (5GHz)”。

可通过“Station Settings” > “SSID”进入5GHz兼容访问点。

注意

根据无线局域网模块而定，“Auto (5GHz)”可能不会出现。如果无线局域网模块用于禁止在室外使用5GHz波段的国家/地区，“Auto (5GHz)”也不会出现。请确认无线局域网模块是否可用于使用无线局域网适配器时所在的国家/地区。有关详细信息，请参阅无线局域网模块的使用说明书。

Content Browser Mobile的监控功能

由于使用时的信号条件或移动设备，监控时视频图像可能会停止。

V2.0更新的主要功能

增加了使用**Sony QoS**技术的高品质串流传输功能

通过将新增的Network Client模式与Sony网络接收站PWS-100RX1（选购）配合使用，CBK-WA100/WA101在LTE/4G线路上与使用Sony QoS技术的高品质串流传输功能兼容。

- 您可以打开/关闭Network Client模式，并按照以下步骤执行连接设置：“Settings” > “System Settings” > “Network Client Mode Settings”。
- 在Network Client模式中对PWS-100RX1执行串流设置和控制。

注意

- CBK-WA100/WA101无法在Network Client模式中记录和上传代理文件。如果在记录或上传代理文件时改变为Network Client模式，代理文件记录或上传将自动取消。
- Network Client模式的串流传输功能无法与正常传输或监控功能同时使用。
- 在无线局域网或有线局域网环境下，因为通信波段暂时未充分加密，根据情况而定可能会出现图像失真。

增加了录制格式

您可以选择“1280×720 (6Mbps)”作为代理文件录制格式。

- 选择步骤为：“Settings” > “Proxy Format” > “Size”。

通过**USB-RJ45**适配器与**Web/Cam Remote**功能兼容

通过使用USB-RJ45适配器CBK-NA1（选购），可以访问CBK-WA100/WA101的网络菜单或兼容摄像机的远程页面。

- 您可以按照以下步骤打开/关闭功能：“Settings” > “Wired LAN Settings” > “Web/Cam Remote”。

注意

我们建议在CBK-WA100/WA101未连接互联网时使用此功能，以防未经授权的访问。

增加了要素标记功能

如果在摄像机正在记录时进行要素标记，互锁记录完成后，要素标记也会标注在代理文件上。

注意

兼容的摄像机为PMW-50/RX50、PMW-580/300/EX280/EX260/EX330R。此功能仅适用于保留了摄像机所记录原始文件的信息和记录持续时间的代理文件。如果原始文件被分割，则不会在代理文件上进行要素标记。

兼容**GPS**信息记录功能

当CBK-WA100/WA101连接到HD-SDI信号中包含GPS信息的摄像机时，可以将GPS信息记录到代理文件中。

注意

兼容的摄像机为PDW-850。

兼容部分上传代理文件

通过使用2.0或更高版本的“Content Browser Mobile”应用程序，可以在记录的代理文件上指定入点/出点并部分上传代理文件。

注意

在部分上传的代理文件的入点/出点的前面或后面最多增加15个画面的余量。

改变了监控格式

从监控格式中删除了“Size”的“640×360 (3Mbps)”。如果使用此设定，“Size”将设定为“480×270 (1Mbps)”。

V1.3更新的主要功能

增加了串流传输功能

增加了串流传输功能，可通过互联网或本地网络传输摄像机的实时视频影像。

串流兼容MPEG2-TS/UDP和MPEG2-TS/RTP传输法。

- 随着串流功能的增加，“Settings”菜单中的“Format”被分成“Streaming Format”和“Proxy Format”。“Streaming”变为“Monitoring”。

- 可以打开/关闭串流传输，以及选择/编辑“Settings” > “Streaming Format” > “Streaming”中的预设项。

注意

- 如果开始串流，则无法执行代理记录和文件传送。如果在代理记录或文件传送期间开始串流，则自动取消代理记录和文件传送。
- 监控功能无法同时使用。
- 根据网络情况而定，接收端设备可能会出现图像/声音失真或暂停。

兼容**USB-RJ45**适配器

通过连接USB-RJ45适配器CBK-NA1（选购），可将无线适配器连接至有线网络（LAN电缆）。

有线网络设定在“Settings”菜单的“Wired LAN Settings”中进行。

V1.22更新的主要功能

新增的兼容型号

PDW-850/750和PMW-RX50与无线适配器兼容。通过USB连接与PDW-850/750和PMW-RX50连接后可使用以下功能。

- 在取景器（PDW-850/750）或液晶监视器（PMW-RX50）上显示CBK-WA100的模式指示和SD卡的剩余空间指示
- 传送原始文件（高分辨率）

指定上传至FTP的文件夹

改进了上传至FTP的文件夹的指定方法。

您可以在“Upload Settings”画面上指定用于上传的文件夹后再进行上传。

V1.1更新的主要功能

增加了录制格式

可以选择480×270（0.5Mbps）作为格式，格式可以在“Streaming”或“Proxy File recording”中进行设定。

使用“Settings”>“Format”中的“Streaming”或“Proxy File recording”的“Size”设定。

改变了音频声道设定

可以在“Proxy File recording”中设定的音频声道设定为“Ch-1 & Ch-2”和“Ch-3 & Ch4”。

扩展了传送功能

- 文件传送和代理文件录制功能可以同时执行。
- 兼容安全FTP传送（FTPS）。CBK-WA100/WA101兼容CA证书加载功能。通过“Settings”>“Upload Settings”>“Server Settings”中的“Create New”设定新服务器时，可以使用“Using Secure Protocol”将FTPS设定为打开/关闭。可以使用“Load Certification”中的“Load”加载CA证书。

注意

此功能仅在兼容FTPS或CA凭证的服务器上可用。

- 兼容FTP传送的恢复功能。如果文件传送失败，重新传送时将从传送失败的地方开始传送文件。

注意

此功能仅在兼容恢复功能的服务器上可用。当文件传送失败时，STATUS指示灯以橙色闪烁。

- 兼容录制后自动传送功能。可以在“Settings”>“Upload Settings”>“Auto upload On/Off”中打开/关闭自动传送功能。

注意

目标文件夹是以在“选择文件并上传”中选择的设定文件夹命名的。当未设定目标文件夹时，则以日期格式命名。

- 兼容“Job List”画面中的“Transfer data rate”和“Remain time”指示。

注意

显示的值为估算值。根据无线局域网环境或3G/4G/LTE网络的连接状态而定，此值可能会变大或变小。

增加了接入点设定

- 可以在“Settings”>“AP Settings”>“Channel Select”中手动选择无线局域网通道。

注意

可选设定为1至13以及Auto。

- 可以在“Settings”>“AP Settings”>“Key”中改变密码。
- 在“Settings”>“Wireless LAN”>“Status”的“Current channel”中显示当前通道。

CI验证的错误指示

如果在连接至Ci期间出现错误，将显示“E03-005 Authentication failed”指示，并且STATUS指示灯以橙色闪烁（0.5秒间隔）。

STA模式的连接指示

当在STA模式中连接至调制解调器时，STATUS指示灯以浅绿色闪烁（0.5秒间隔）。

兼容SD-SDI信号

CBK-WA100/WA101兼容SD-SDI信号输入。

注意

当输入SD-SDI信号时，与摄像机的互锁记录不可用。

“Station Settings”画面上的搜索功能中止

“Station Settings”画面上的搜索功能中止。通过WPS功能连接或输入SSID。

V1.06更新的主要功能

适用于iOS的**Content Browser Mobile**的搜索功能。搜索功能与适用于iOS的Content Browser Mobile兼容。您需要安装最新的Content Browser Mobile才能使用此功能。